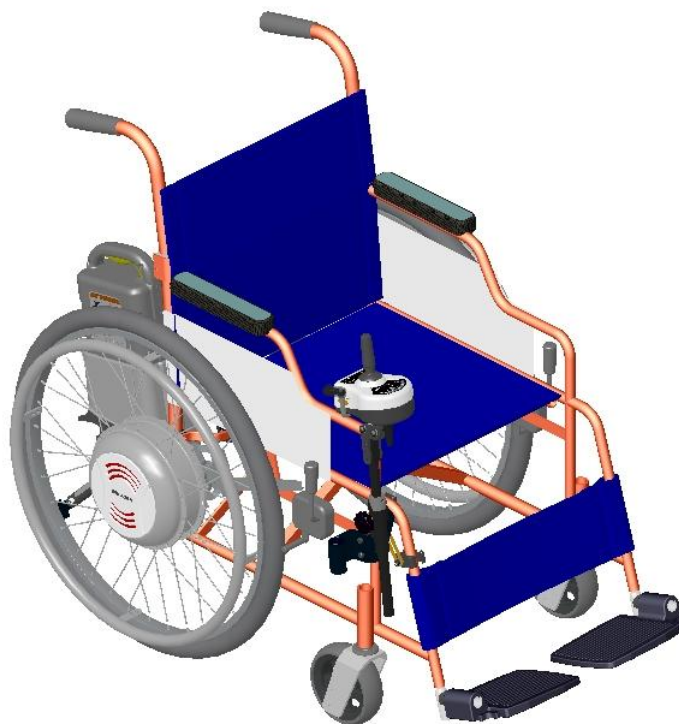
デイリープラス

DailyPLUS

機種名（DPS シリーズ）
DPS-L20　DPS-L22　DPS-L24　DPS-M22　DPS-M24

取扱説明書

この取扱説明書は、ご使用前にご本人及び介助者が必ずよくお読みください。また、いつも身近において、分からないことがありましたらこの取扱説明書をお読みください。
また、手動車いすの取扱説明書もあわせてお読みください。

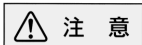
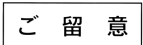
はじめに

ごあいさつ

　この度は、イマセン車いす電動ユニット「デイリープラス」をお買い上げいただきましてありがとうございます。
　この取扱説明書には、正しい取扱いや簡単な手入れの方法について記載してあります。ご使用前にご本人及び介助者が必ずよくお読みください。また、いつも身近において、分からないことがありましたらこの取扱説明書をお読みください。
　デイリープラスを安全にご使用いただき、皆様の日常生活のお役に立てることを願っております。

お願い

　品質改良のためお手元の製品とこの取扱説明書の内容・イラストの一部が異なる場合がありますのでご了承ください。
　デイリープラスを他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し、ご使用前に「取扱説明書」を**必ず読むように指導してください**。
　デイリープラスを譲渡するときは、この「取扱説明書」を一緒に引き渡してください。
　公道で使用する場合、道路交通法で定められた電動車いすの定義より外れるものについては、最寄りの警察署長の承認をお取りください。

目　次

1　安全のために

デイリープラスを安全にご使用いただくためには、正しい操作と定期的な点検が必要です。

この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、充分に理解されるまではご使用にならないでください。

デイリープラスは、歩行が不自由な方、お年寄りの方が乗って移動することを使用目的につくられています。この取扱説明書に示されている操作方法や安全に関する注意事項は、デイリープラスを指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に書かれていない使用方法をおこなう場合の責任は、負いかねますのでご留意ください。

この取扱説明書には、ご使用に際して特に重要な案内事項を ⚠危険 ⚠警告 ⚠注意 ご留意 のマークを使用して表現してあります。

これらのマークにより表現された内容は、以下の意味を持ちますので、特に注意してください。

マーク	意味
⚠ 危険	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負う恐れのあるものを示します。
⚠ 注意	その指示に従わなかった場合、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する恐れのあるものを示します。
ご留意	その指示に従わなかった場合、車いす、及び車いす電動ユニットが壊れる恐れのあるものを示します。

なお、上記分類においては、

重　　傷：失明、けが、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するもの。

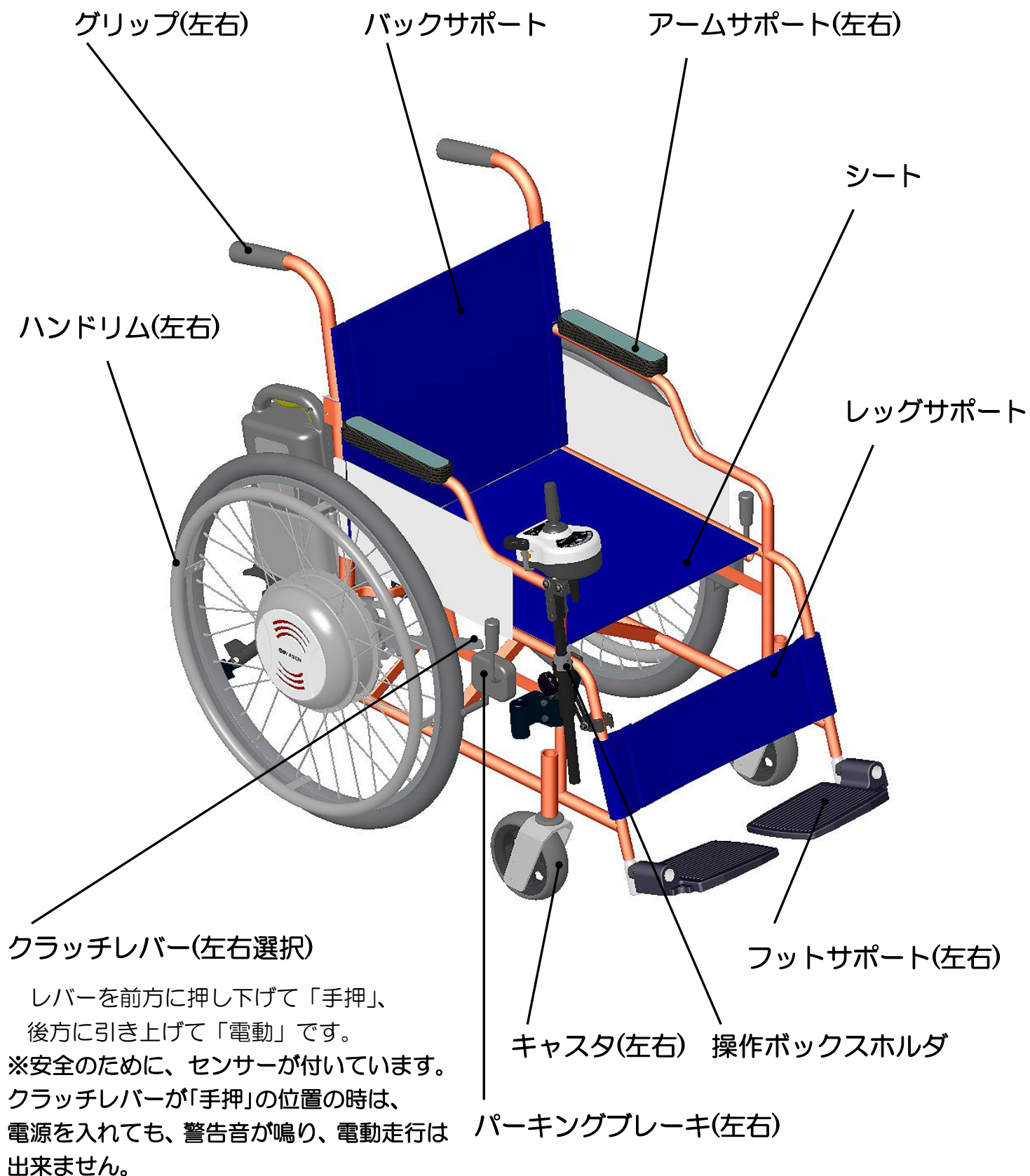
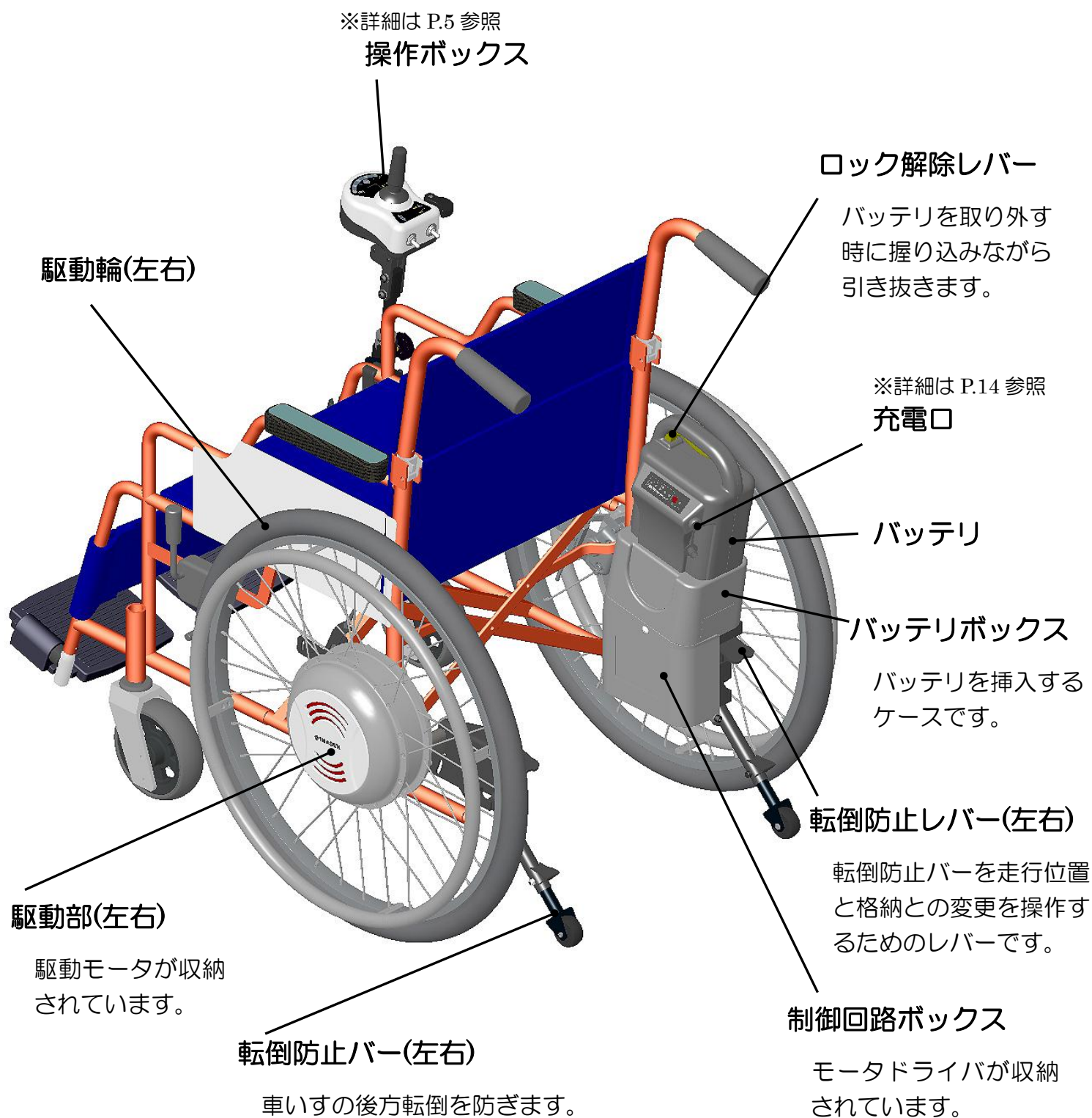
軽　　傷：治療に入院や長期の通院を要さないもの。（上記重傷以外）

物的損害：家屋や家財および家畜・ペットにかかわる損害など。ただし、車いす、及び車いす電動ユニット自体のみの損害（自損）は含まれない。

また、⚠注意 の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく場合があります。いずれの場合も安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

2　各部の名称

　レバーを前方に押し下げて「手押」、
　後方に引き上げて「電動」です。

※安全のために、センサーが付いています。
クラッチレバーが「手押」の位置の時は、
電源を入れても、警告音が鳴り、電動走行は
出来ません。

各部の名称

転倒防止バー(左右)

車いすの後方転倒を防ぎます。
転倒防止レバーを押すと転倒防止バーが回転して走行位置と格納との変更が出来ます。

＊安全のために、センサーが付いています。
転倒防止バーが格納されている時は、電源を入れても、警告音が鳴り、電動走行は出来ません。
電動で走行される時など、ご使用中は絶対に格納しないでください。
「手押」の場合でも、必要な場合以外では、格納しないでください。

■　操作ボックス

ホーンボタン

押すとホーンが鳴ります。

操作レバー

前に倒すと「前進」、
後ろに倒すと「後進」
左右に倒すとその方向に旋回します。

バッテリ残量ランプ

５つのＬＥＤを使用し、現在のバッテリ残量を表します。
（詳細は P.16 参照）

手置きプレート

手操作ボックスの左右に合わせて取り付けます。

要充電警告ランプ

（バッテリ残量ランプの一番左側のランプ）

バッテリ残量が残り少なくなると、このランプのみ点灯・点滅します。（赤色）
（詳細は P.16 参照）

電源スイッチ

上：電源「入」（ON）
下：電源「切」（OFF）

速度切替スイッチ

３段階で速度切替。
上：高速（ウサギ）
中：中速
下：低速（カメ）

表示器

速度表示・エラー表示等
情報を表示します。

■　バッテリ

ロック解除ボタン

バッテリを取り外す時に握り込みながら引き抜きます。

バッテリ残量ランプ

５灯のＬＥＤを使用し、残量表示ボタンを押すことで、現在のバッテリ残量を表示できます。
充電中は点滅表示により、充電の進行状況を確認できます。

リフレッシュランプ

リフレッシュ充電のタイミングをランプの点灯でお知らせします。
リフレッシュ充電を行うことで自動的に消灯します。

残量表示ボタン

ボタンを押すことでバッテリ残量ランプを５秒間表示させることができます。

充電口

充電器の充電コードを差して充電します。

３　基本的注意事項

1．コーションラベル

警　告

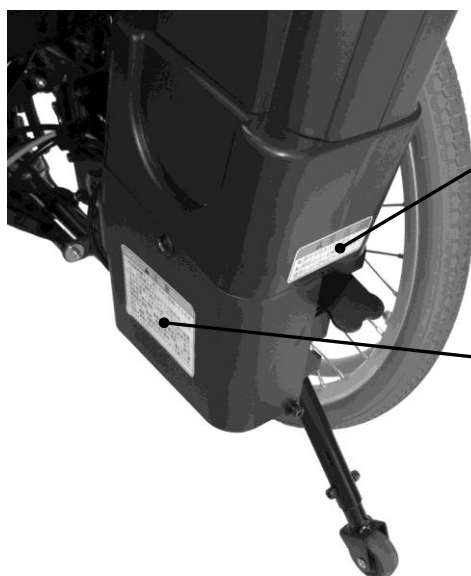
衝突・転倒の恐れがあります。
- 坂道ではクラッチレバーを「手押」位置で使用しないでください。
- 電動走行中にバッテリを抜かないでください。

機器の損傷や火災を引き起こすことがあります。
以下のことを必ずお守りください。
- 火の中に入れたり、加熱しない。
- 強い衝撃を与えたり、分解や改造をしない。
- 水の中に入れたり、濡れた手で触らない。
- 指定機種以外の機器に使用しない。
- 充電は専用充電器で行うこと。
- 各端子を工具や金属物で接続しない。

24V　10.0Ah　使用後のバッテリはリサイクルのため、販売店にお渡しください。

マイコン内蔵型
Ｎｉ－ＭＨ

警　告

感電の恐れがあります
濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。

警　告

転倒する恐れがあります
転倒防止バーを格納したままで走行しないでください

注　意

○取扱説明書をよく読んでから使用してください。（介助者を含む）
○次のような場所や状況下での走行は、避けるか介助者を同行してください。
- 急な坂道　・大きな段差　・下り坂の後進
- 急旋回、蛇行運転　・下り坂での中高速走行
- 傾斜面の横断　・重積載（搭乗者含む）走行
- ぬかるみ、雪道、凍結路等の悪路　・踏切
- 雨天、濃霧、強風等の悪天候時　・幅の広い溝

○衣服が車輪に巻き込まれないよう注意して走行してください。

注意	無線・携帯電話等を使用するとき、あるいは理学療法の治療を受けるときは電源スイッチを「切」にしてください。

種類	ＭＳ
機種名	ＤＰＳ－Ｍ２２

車体番号ラベル

○○○○○○○

製造元ラベル

製造元	株式会社 今仙技術研究所
バッテリ型式	２４Ｖ１０．０Ａｈ
定格電圧	ＤＣ２４Ｖ
使用者最大体重（積載物含む）	１００ｋｇ

２．運転の練習

正しい操作手順を覚えるために、つぎのような練習をしてください。

●必ず介助者と同行し、公園や広場等の安全な場所で自信がつくまで充分練習をしてください。

●停止するときは、操作レバーを中央の位置に戻してください。

●最初は、速度切替スイッチを「低速」にして、まっすぐに走行したり、大きく回ったりして練習をしてください。

●慣れてきたら、「低速」から速度を切替えて、練習をしてください。

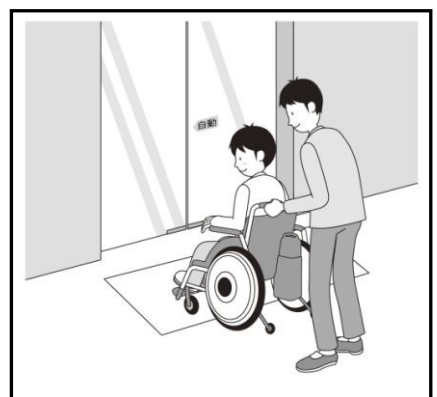
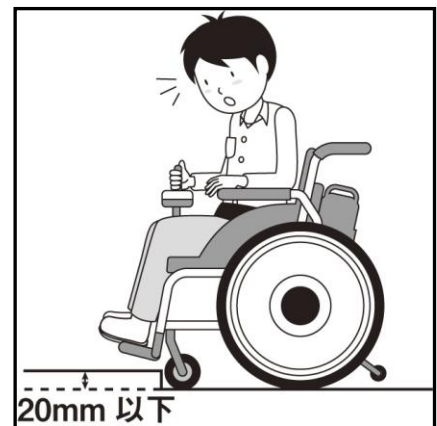
●はじめて道路へ出るときは、介助者と同行し、安全を確認しながら走行してください。
特に、以下のような場所では、必ず介助者同行のもとで練習をしてください。

<u>段差の乗り越え</u>
・手前で一旦停止し、慎重に進んでください。
・乗り越えの要領と限界を覚えてください。

<u>自動ドア</u>
・定位置で一旦停止してください。

<u>坂道</u>
・坂道での再発進や停止は慎重におこなってください。
・上り下りの限界を覚えてください。

<u>歩道</u>
・歩行者や障害物にぶつからないように、周囲の状況や路面に応じた走行を覚えましょう。

<u>横断歩道</u>
・余裕をもって横断歩道を渡ってください。
・車道／歩道の段差に注意してください。

３．走行上の注意

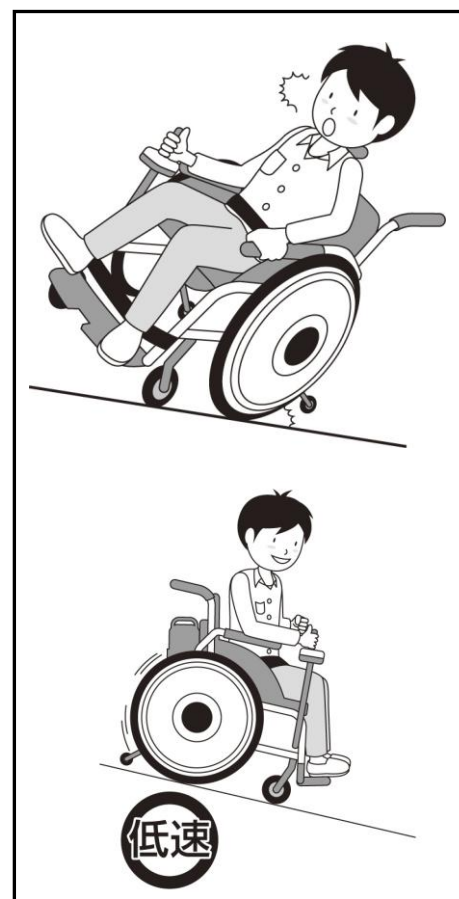
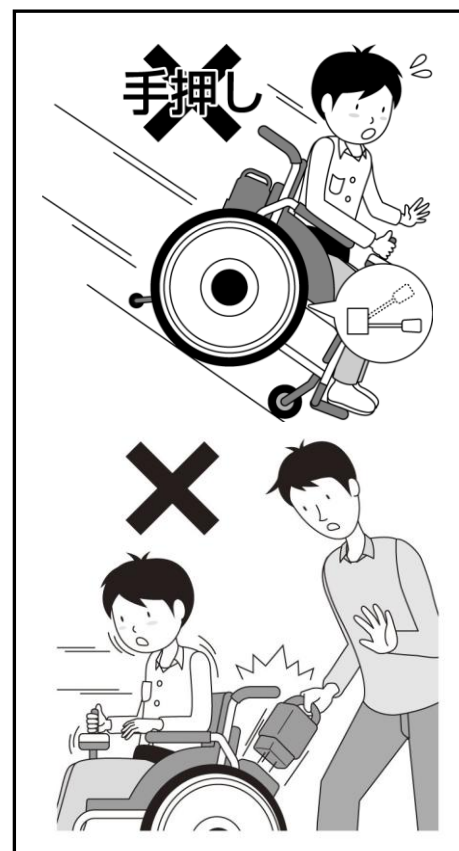
（１）坂道を走行するときは、次のことを守ってください。

⚠ 警　告

衝突・転倒の恐れがあります。
・坂道ではクラッチレバーを「手押」位置で使用しないでください。
・電動走行中にバッテリを抜かないでください。

坂道での乗り降りは危険ですからやめてください。

急な坂道（６度以上）の走行や、坂の途中で向きを変えたり、急な傾斜面（５度以上）を横切ることは不安定になりやすく、危険ですから避けてください。

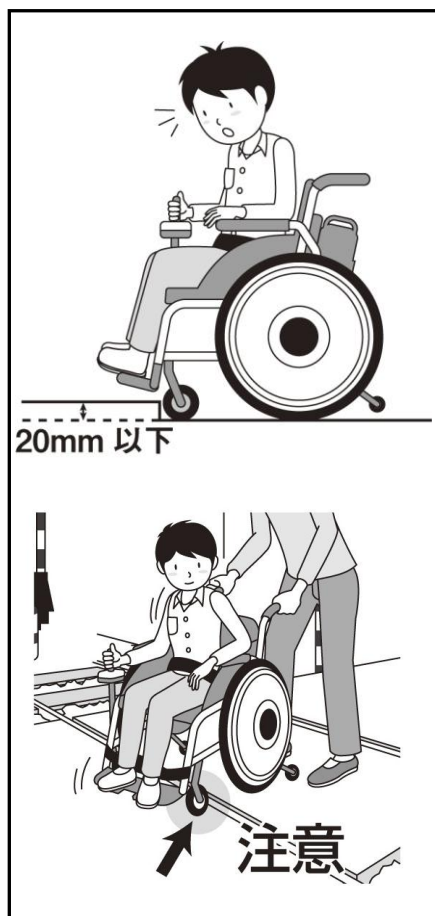
下り坂を走行するときは、必ず低速にしてゆっくりした速度で下りてください。高速では停止距離が長くなり、危険ですから避けてください。
後ろ向きに下りることは、たいへん危険ですからしないでください。

（２）段差の乗り越え、溝越えについてはつぎのことを守ってください。

⚠ 注　意

越えられる段差は、※２０mm までです。これ以上の高い段差は危険です。路面状態のよいところを走行してください。

※手動車いすのキャスタ径の影響を受けますので数値は目安です。

溝越えをする場合は、介助者と同行し走行してください。特に、踏切を渡るときは、線路内にキャスタを落とす危険がありますので、必ず介助者と同行してください。

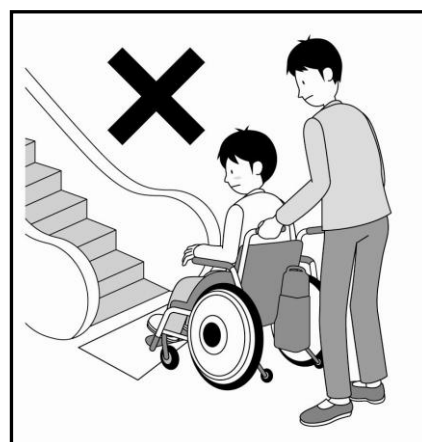
転倒・落輪する恐れがあります。段差、溝に対して斜め方向から進入するのはやめて、直角に乗り越えてください。

（３）悪天候・夜間走行は、つぎのことを守ってください。

⚠ 注　意

雨天・濃霧・強風時等は見通しが悪くなったり、危険をともないますので避けてください。
雪道、凍結路はスリップする恐れがありますので避けてください。夜間の走行はたいへん危険ですので避けてください。やむをえず走行する場合は介助者と同行し、走行してください。

（４）その他、つぎのことを守ってください。

⚠ 注　意

エスカレーター（車いす乗車用は除く）の乗り降りや階段の上り下りは、転倒しますので絶対にやめてください。

⚠ 注　意

車いすが走行できる場所には限度があります。つぎのような場所や状況下での走行は避けるか、介助者と同行してください。

●デパート、商店、レストラン、駅のホーム等人混みで走行する場合は、充分気をつけてください。
●交通量の多い道路、踏切、砂利道、でこぼこ道、ぬかるみ、防護柵のない道路の路肩等は衝突・転倒、またはタイヤがめり込んだりして動けなくなることがあります。

⚠ 注　意

走行中の急旋回、蛇行運転、急停止は衝突・転倒の恐れがあります。なめらかな運転をしてください。

衣服等がタイヤへ巻き込まれないように気をつけて走行してください。

飲酒、過労時等の状態で使用しないでください。

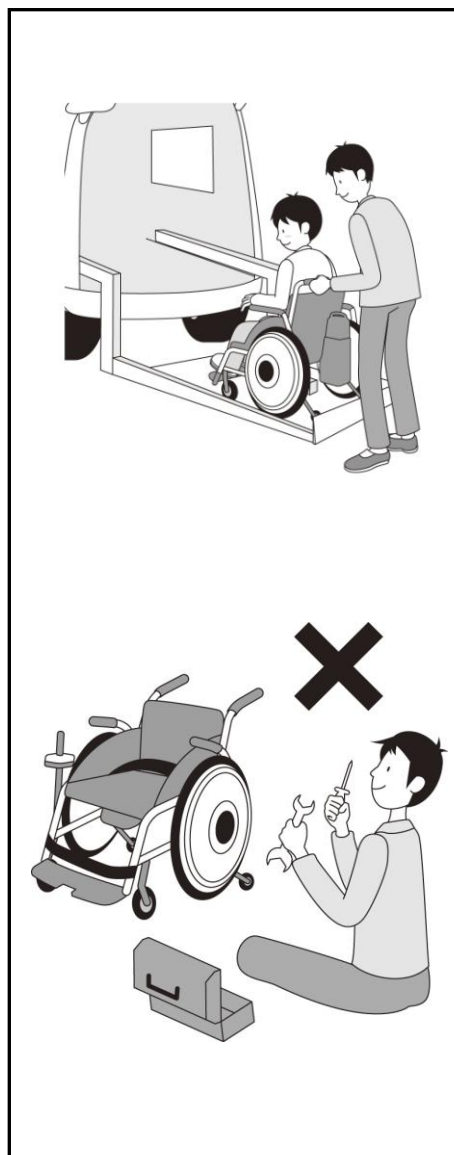
⚠ 注 意

使用前には点検をおこなってください。

操作ボックスの操作レバーに物をかけますと運転のさまたげになります。たいへん危険ですからしないでください。

走行中に異常を感じたら、直ちに使用を中止し、販売店へご連絡ください。

スロープ付、またはリフト付自動車を利用される際は、一人で乗降されますとたいへん危険です。必ず介助者同伴で乗降してください。

改造しないでください。
改造すると安全上問題となることがあります。改造する場合は、事前に販売店にご相談ください。許可のない改造には責任を負いかねます。

⚠ 警 告

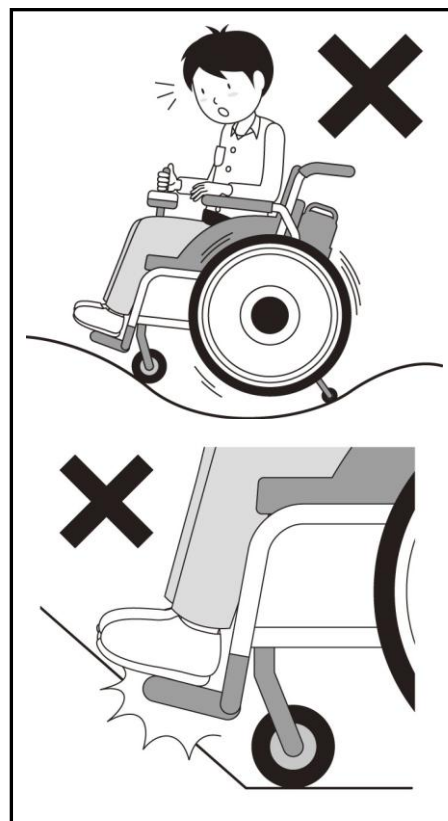
転倒する恐れがあります
電動・手押しのどちらの場合でも

・転倒防止バーを格納したままで走行しないでください。
・転倒防止バーを正しく設定していない状態で絶対に走行しないでください。
・転倒防止バーをはずしたり、格納したままであったり※規定高より高い状態で走行すると転倒することがあります。

※規定高：キャスタと地面の間が５０~１００mmの範囲（詳細は P.28 参照）

⚠ 注　意

大きな段差や深いくぼみなどがある場所では、転倒・転落の恐れがあります。また、転倒防止バーが路面にあたり、駆動輪が浮いて走行できなくなることがあります。
避けるか、介助者と同行してください。

平坦路から上り坂に上がるとき、または下り坂から平坦路に下りるとき、フットサポートが路面にあたることがあります。
こうした場所は避けるか、介助者と同行してください。

⚠ 注　意

車いすを持ち上げてもらうときは、絶対にバッテリ、駆動部、ケーブル、操作ボックスなどの電動ユニット部品を持たせないでください。機器が破損する恐れがあります。
持ち上げるときは、必ず車いすのフレーム部分を持ってください。

4　バッテリの取扱いと充電方法

1．バッテリについて

□各部の名称

ロック解除レバー

バッテリをバッテリボックスから引き抜く時に握り込んでロックを解除します。

充電口

充電器の充電コードを差し込んで充電します。
バッテリキャップが付いています。充電の際は、バッテリキャップを抜いてください。

⚠ 警　告

バッテリは使い方を誤ると、機器の損傷や火災を引き起こすことがあります。以下のことを必ずお守りください。

・火の中に入れたり、加熱しない。
・強い衝撃を与えたり、分解や改造をしない。
　（※ケースが破損した場合は絶対に使用しない。）
・水の中に入れたり、濡れた手で触らない。
・デイリープラス以外の機器に使用しない。
・充電は専用充電器でおこなうこと。
・各端子を工具や金属物などで接続しない。
・走行中にバッテリをバッテリボックスから抜かない。
・充電口のバッテリキャップは、充電以外の時は閉めておくこと。（防水のため）

⚠ 注　意

バッテリを人工呼吸装置等の生命維持装置の電源等には使用しないでください。

□取扱いの注意事項

●バッテリの寿命は、使用場所、使用時間によって大幅に異なります。

●バッテリを交換する場合は、**当社指定**のバッテリをご使用ください。

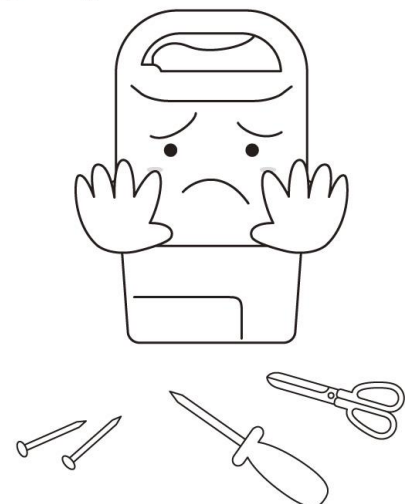
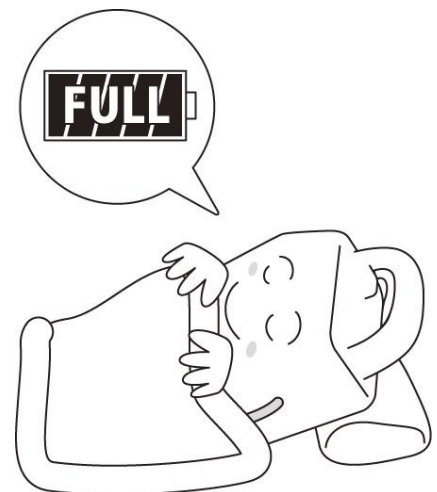
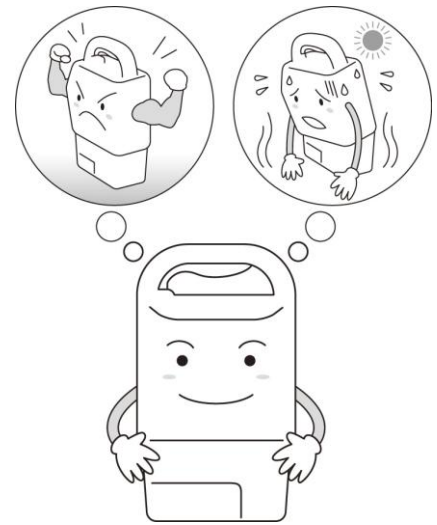
デイリープラス専用バッテリ
マイコン内蔵ニッケル水素電池
ＤＣ２４Ｖ　１０．０ＡＨ

●使用済みのバッテリは、リサイクル致します。そのまま廃棄せず、販売店までご連絡ください。

Ni-MH

●バッテリを使用せずに長期保管する場合は、満充電にしてから高温になる場所を避けて保管してください。

●バッテリは使用していない時でも残量は少しずつ減っていきます。（自己放電）
使用しない時でも２～３週間に一度は充電をしてください。

●充電口、及びバッテリの金属部分には金属製のものを近づけないようにしてください。また、異物がある場合は、取り除いてください。

バッテリの取扱いと充電方法

□バッテリの残量と表示の関係

※概算容量は目安

<table>
<tr><th>バッテリおよび操作ボックスの残量ランプ</th><th>概算容量(%)</th><th>ブザー</th><th>走行</th></tr>
<tr><td>5 灯</td><td>80～100</td><td rowspan="3">なし</td><td rowspan="4">通常</td></tr>
<tr><td>4 灯</td><td>60～79</td></tr>
<tr><td>3 灯</td><td>40～59</td></tr>
<tr><td>2 灯</td><td>20～39</td><td rowspan="2">容量が 20%、10%になる時各々1 回警告</td></tr>
<tr><td>1 灯</td><td>1～19</td><td>残量が１０%以下速度 1/2</td></tr>
<tr><td>1 灯（点滅）</td><td>0</td><td>１回警告（3 秒）</td><td>停止</td></tr>
</table>

※バッテリ残量警告機能

バッテリ残量ランプが 20%を下回ると、警告ブザーが「ピー（１秒）」と鳴ります。
同様に 10%を下回った時にも警告ブザーが「ピー（２秒）」と鳴り走行速度が選択速度の 1/2 になります。さらに「点滅」状態になると警告ブザーが「ピー（３秒）」と鳴り、走行不可能であることをお知らせします。

要充電警告ランプ

バッテリ残量が１灯表示になると残量が 20%未満になっています。すぐに充電をしてください。

2．充電器と充電方法

□各部の名称

電源コード

家庭用コンセントに差し込みます。
（AC100～120V　50／60Hz 対応）

充電コード

バッテリの充電口に差し込みます。
＊充電の際、差込向きに注意
充電コードのプラグは、バッテリを立てた状態で、プラグにある矢印の刻印が真上から見える方向からカチッとロックするまで差込んでください。

充電表示ランプ

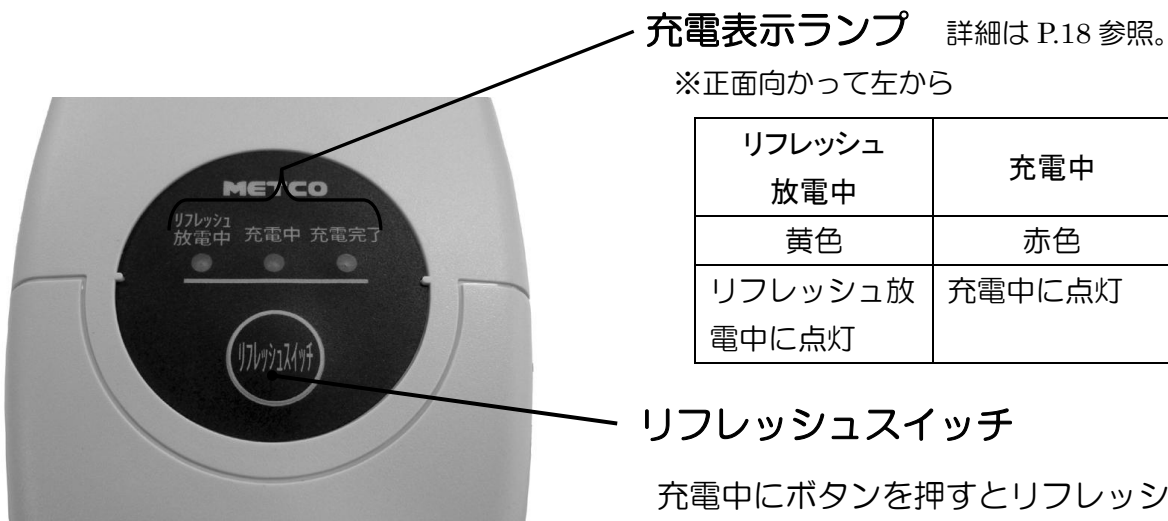
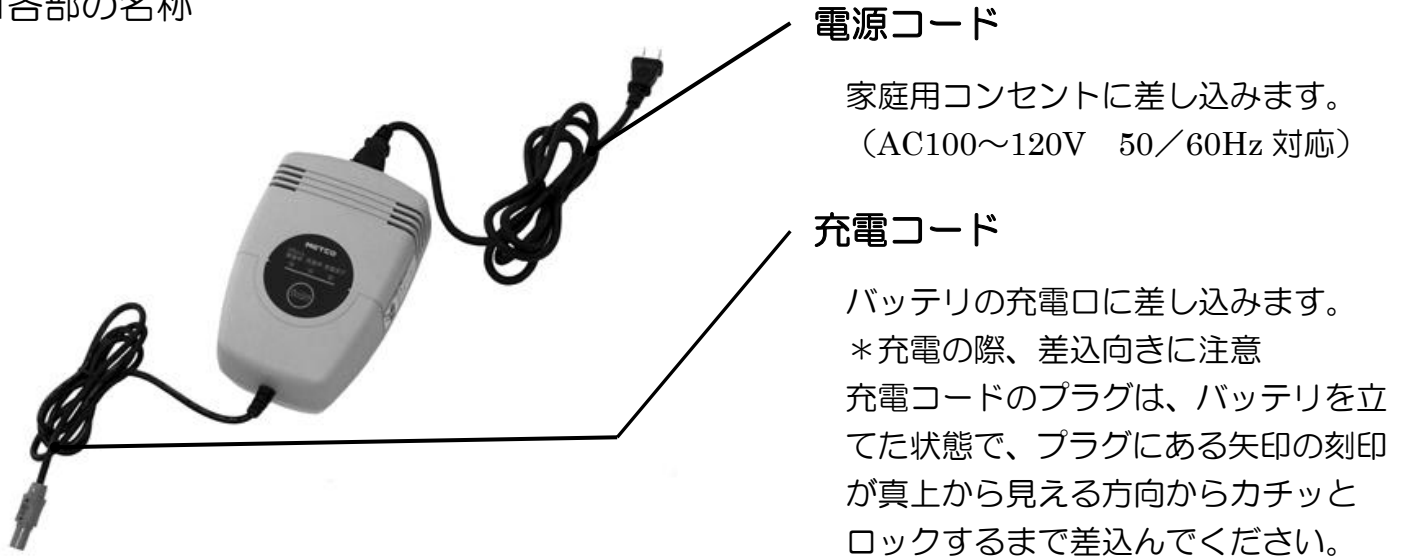
詳細は P.18 参照。

※正面向かって左から

リフレッシュ放電中	充電中	充電完了
黄色	赤色	緑色
リフレッシュ放電中に点灯	充電中に点灯	充電完了時に点灯

リフレッシュスイッチ

充電中にボタンを押すとリフレッシュ放電を開始します。
詳細は P.26 参照。

⚠ 警　告

感電の恐れがあります。濡れたプラグや、濡れた手で充電しないでください。
つぎのような場所では充電しないでください。
●雨露を受ける場所　　●湿気の多い場所

⚠ 注　意

充電器の分解や改造は故障の原因になりますのでやめてください。

□充電の仕方

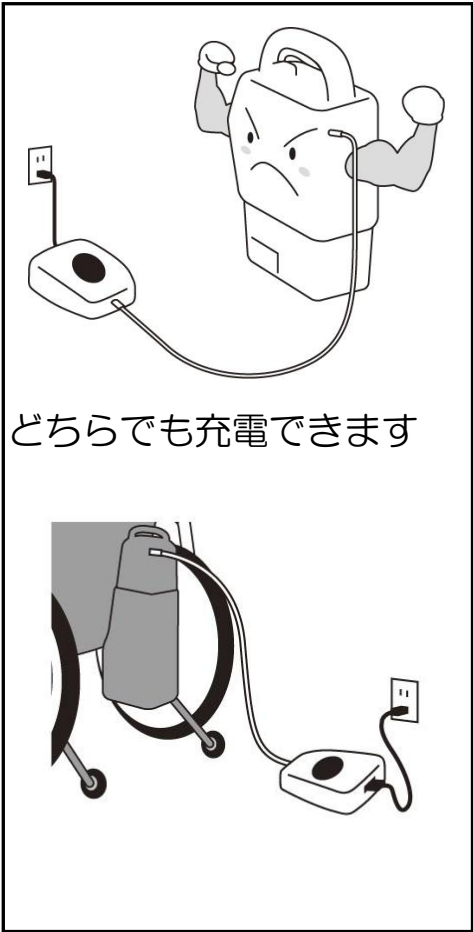
1．操作ボックスの電源スイッチを「切」にしてください。

2．バッテリ単体で充電する場合は、バッテリのロック解除ボタンを握りながらバッテリボックスから取り出します。

3．充電器の電源コードを家庭用コンセントに差し込み、充電コードをバッテリの充電口に差し込んでください。

4．充電器の充電中ランプ（中央赤色）が点灯します。

5．充電完了しましたら、２～３の逆の手順で充電を終了します。

どちらでも充電できます

■充電表示ランプの表示色と充電状態

黄	赤	緑	意　味
○	●	○	充電中です
○	○	●	充電完了です
●	○	○	リフレッシュ放電中です
○	☆	○	バッテリの温度が上昇し、待機中です

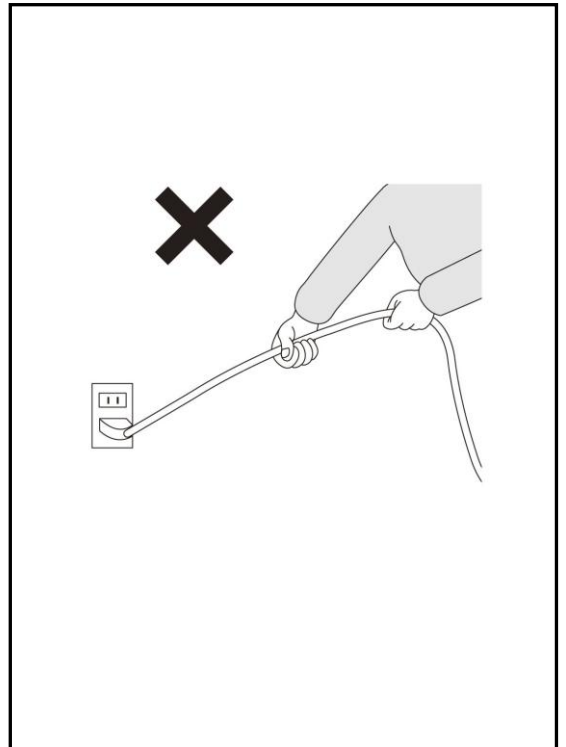
（記号：●点灯　　○消灯　☆点滅）

※充電範囲外

バッテリ保護のため、バッテリ温度が０～４５℃の範囲外の場合は、充電を開始せずに待機状態となります。
適温になりましたら自動的に充電を開始します。

⚠ 注　意

充電が終了しましたら、なるべくお早めに充電コードを抜いて、充電を終了してください。長期間（２４時間以上）、充電をしたままにしないでください。バッテリの寿命が短くなることがあります。

電源コードや充電コードは、必ずプラグ部分を持って引き抜いてください。
コード部分を持ちますと断線の原因になります。

□充電中の注意事項

●購入後、初めてご使用になる前に必ず充電をしてください。

●必ずデイリープラス専用のバッテリと充電器をご使用ください。

●充電する時は、必ず車いすの電源スイッチを「切」にしてください。

●雷時は、直ちに充電を中止し、電源コードのプラグを家庭用コンセントから抜いてください。

●充電時間は、バッテリの放電状態によって異なります。（最大６時間　＊リフレッシュ放電の時間は含みません。）

●海外など 120V を超える電圧では充電ができません。トランス式変圧器（定格容量 100W 以上）と海外の形状が合うプラグアダプターをご用意ください。

バッテリの取扱いと充電方法

●長期間ご使用にならない場合でも２～３週間に一度は充電してください。

●冬場など気温が低い場所（０℃以下）では充電することができません。０℃以上（４５℃以下）の風通しの良い室内で充電してください。

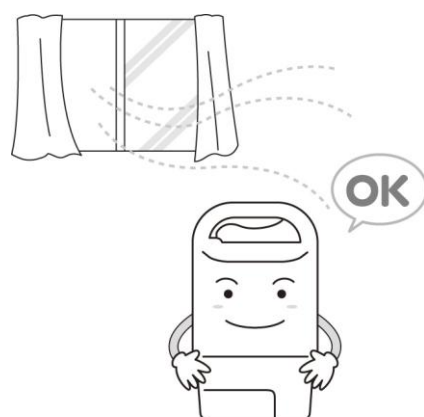
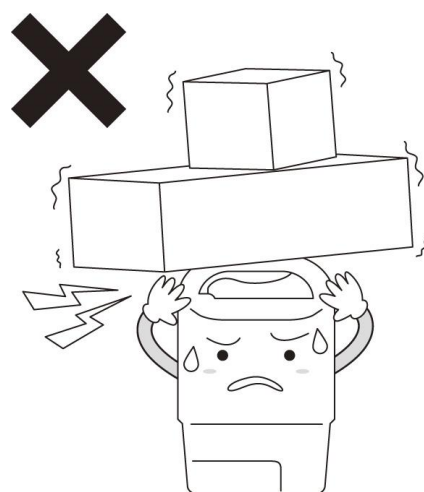
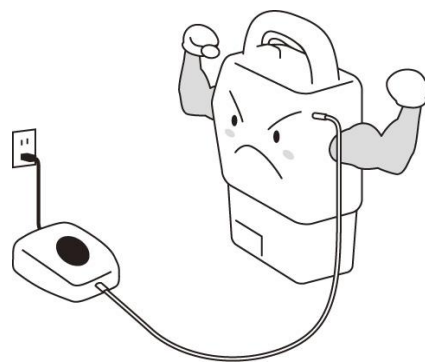
●夏場など気温が高い場所で走行した直後のバッテリは、高温になりますので充電の前に適温まで自然に冷ましてください。

●各所コネクタが正しく差し込まれていないと充電できません。充電コードは、充電口の奥までしっかりと差し込んでください。

●バッテリや充電器に衝撃を与えたり、落とさないでください。

●充電器やバッテリの上に物を置かないでください。

●充電中は、充電器やバッテリが４０℃以上の高温になることがあります。触れないようにしてください。

●つぎのような場所では充電しないでください。
・雨露を受ける場所
・湿気の多い場所
・直射日光が当たる場所
・暖房器具の前など高温になる場所
・０℃以下の低温になる場所
・４５℃以上の高温になる場所
・幼児やペットの手が届く場所

5　運転及び操作の仕方

□運転前の確認事項

1．転倒防止バーが正しく設定されていることを確認します。
（詳細は P.28「転倒防止高さ調整」を参照にしてください。）

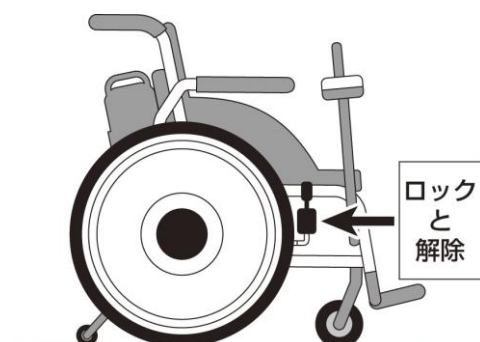
2．クラッチレバーが「電動」の位置になっていることを確認します。

3．車いすのパーキングブレーキがロックされていることを確認します。

4．操作ボックスの電源スイッチが「切」になっていることを確認して、バッテリを装着します。
※バッテリボックスに異物が無いことを確認し、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

5．充電コードが充電口に差し込まれていないことを確認します。

6．車いすに乗車します。

7．車いすのパーキングブレーキを解除してください。

□運転時の操作手順

1. バッテリがバッテリボックスに正しく装着されていることを確認します。

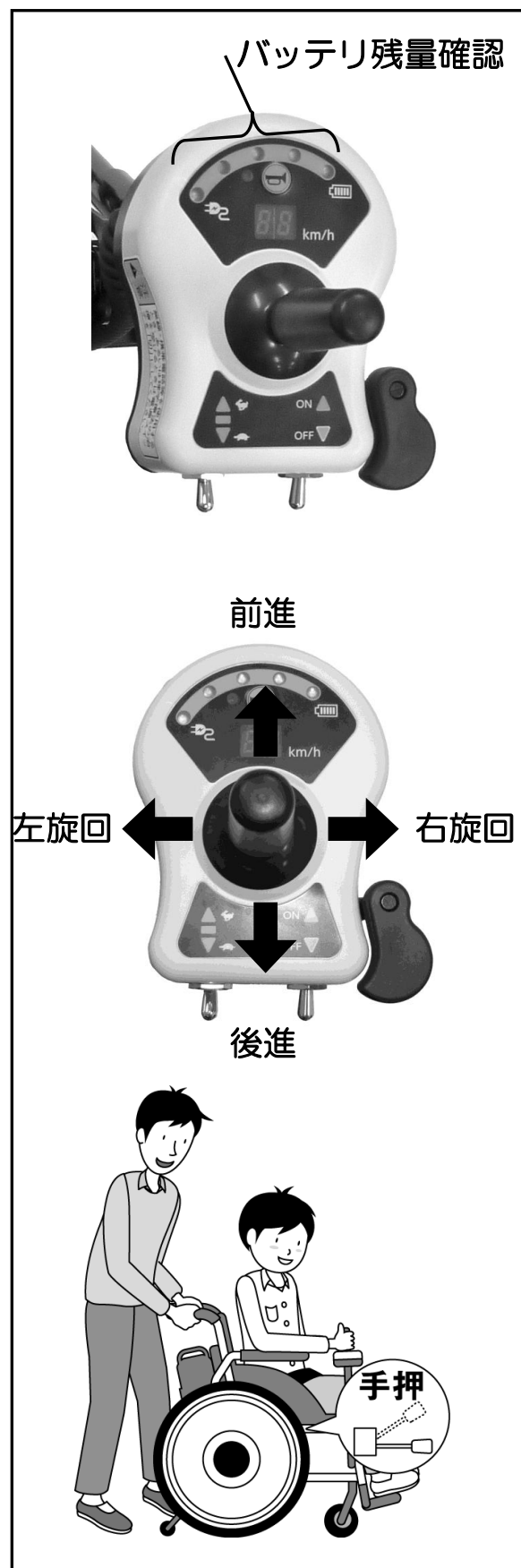
2. 操作ボックスの電源スイッチを「入」にしてバッテリの残量が充分にあることを確認してください。

3. 速度切替スイッチで速度を選択してください。

4. 操作ボックスの操作レバーをゆっくり倒してください。
   ・前に倒すと前進、後ろに倒すと後進します。
   ・左右に倒すと、その方向に旋回します。
   ※電源スイッチを「入」にしたときに操作レバーが倒れていると安全装置が働いて走行できません。操作レバーを中央の位置に戻してから電源スイッチを「入」にしてください。

5. 停止させるには、操作レバーを中央の位置に戻してください。電磁ブレーキがかかり停止します。

6. 車いすから降りる場合は、電源スイッチを「切」にして、パーキングブレーキをロックしてください。

7. 車いすを介助者に押してもらう時は、クラッチレバーを「手押」の位置にしてください。
   ＊「手押」の場合は、駆動モータに内蔵されている電磁ブレーキが掛からなくなりますのでご注意ください。

□運転時の注意事項

⚠ 注　意

・走行中電源スイッチを「切」にすると、急停止しますのでしないでください。

・無線、携帯電話等を使用するとき、あるいは理学療法の治療を受けるときは、電動車いすの電源スイッチを「切」にしてください。

⚠ 注　意

・電動車いすは、道路交通法上（第２条－３項－１号）歩行者として扱われます。歩行者としての交通ルールを守って安全運転を心がけてください。

・歩道を走行し横断歩道を渡ってください。歩道のないところは、右側通行してください。

・斜め横断はしないでください。

・横断歩道では、一旦停止して安全を確認してください。

・スイッチ、操作レバーの操作は、ていねいにおこなってください。また、衣服を引っかけたり、強い衝撃をあたえないようにしてください。

⚠ 注　意

・走行中、幼児やペットを電動車いすに近づけないでください。

・制動距離は条件によって変わります。停止操作は、余裕をもっておこなってください。

・バックサポートの角度によっては、急な坂道での制動性能が変わりますので、充分気をつけて走行してください。

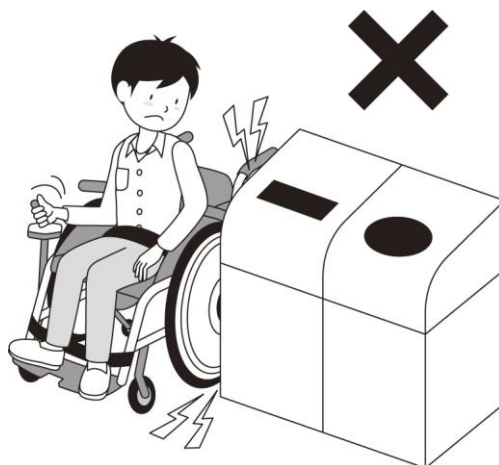
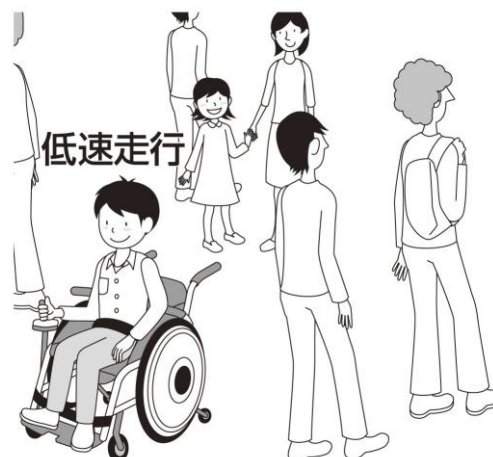
・屋内では、他の人に迷惑をかけないよう必ず低速で走行してください。また、人通りの多い歩道も必ず低速で走行してください。

・後進時は、後方の人や障害物を充分確認し走行してください。

・車いすが何かにぶつかったまま操作レバーを倒し続けるのは故障の原因になりますのでやめてください。

・車体から、身体の一部をはみ出さないでください。

・駐停車は坂道を避け、必ず平地でおこなってください。

・保管したり駐車するときは、クラッチレバーを「電動」の位置にして電源スイッチを必ず「切」にして、幼児等がふれないようにしてください。

⚠ 注　意

・二人乗りやけん引はしないでください。

・使用者最大体重（積載物含む）が、１００ｋｇを超える場合は使用をしないでください。

・スイッチ操作をするときは、必ず停止しておこなってください。

□性能上の注意事項

電源切り忘れ防止機能

操作レバーを操作しないまま１０分間経過するとブザーでお知らせします。その後電源が「入」の状態が続くと３０秒間隔でブザーが鳴ります。電源を「切」にするか、操作レバーを動かすとリセットされます。

バッテリ残量警告機能

バッテリ残量が少なくなると警告ブザーが鳴ります。（残量が、20%、10%を下回った時）
要充電警告ランプのみ点灯して、さらに使用してバッテリ残量が 10%未満になると、走行速度が選択速度の半分に低下し、最後には停止します。すぐに充電をしてください。

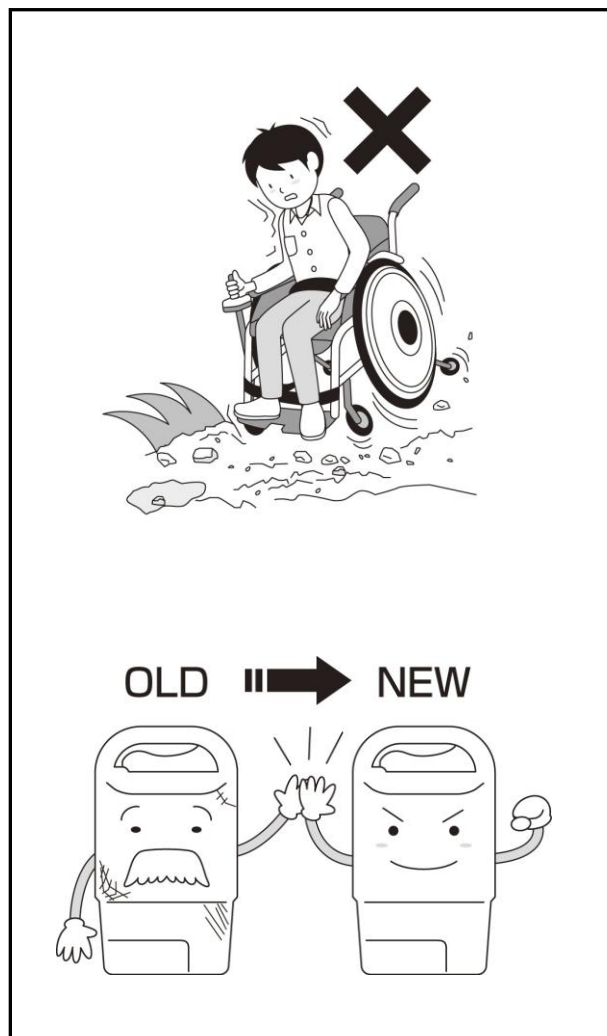
□走行距離について

●走行距離は、約２２km です。（22 インチ 6.0km/h 仕様車の場合　算出条件等については P.32 の「諸元・性能表」を参照にしてください。）

●走行距離は、走行状況によって変わります。坂道や悪路など電気を多く消費する場所を走行しますと短くなります。

●バッテリは消耗品です。使用しているうちに働きは徐々に低下し、走行距離は短くなります。

●冬場など気温の低い場所でご使用された場合の走行距離は、短くなります。

●同じ様な使い方をしていても、バッテリ残量ランプの減り具合が早くなってきたり、走行できる距離が次第に短くなってきた時はバッテリ交換の時期と思われますので、早めに当社指定のバッテリに交換してください。なお、そのまま使用されますと急激に走行距離が短くなる場合があります。

「走行距離が短くなった」と感じたら・・・

デイリープラスのバッテリは、ニッケル水素電池を使用しています。「走行距離が短くなった」などの状態になりましたら、※メモリー効果の影響による場合があります。一度以下の手順で充電をおこなってください。

メモリー効果の除去方法

１．P.18 の「充電の仕方」の手順（1～4）に従って充電を開始します。
２．充電が開始したら、すぐにリフレッシュスイッチを押します。
３．リフレッシュランプ（黄色）が点灯します。
４．リフレッシュ放電後、自動的に充電が開始します。

（注意）リフレッシュ放電には、満充電の状態から行いますと最大 20 時間必要です。
　　　　できるだけバッテリの残量が減った状態でおこなうようにしてください。

※ メモリー効果とは、バッテリの残量が充分に残っている状態で充電することを繰り返すと、バッテリの容量が、減少したように見える現象です。

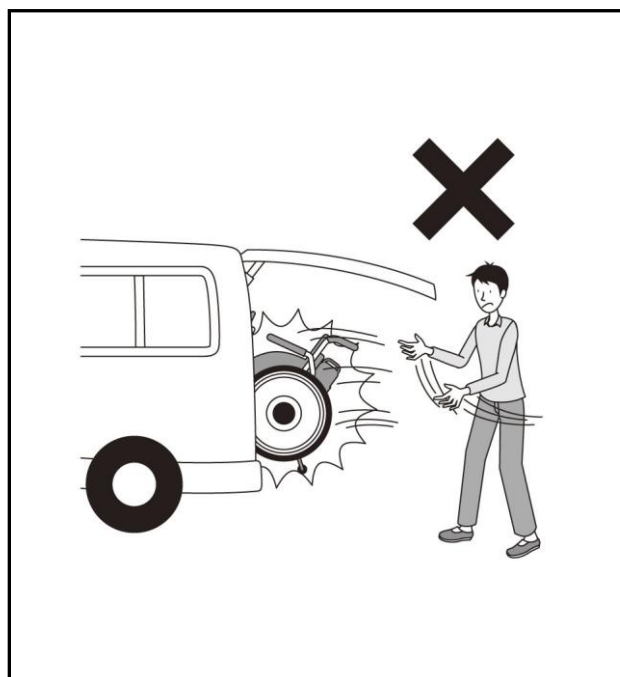
6　運搬方法

運搬方法はつぎの手順でおこなってください。

1．運搬中は電源が入らないように、バッテリをはずしてください。

2．車いすのパーキングブレーキをロックしてください。

3．配線などに注意して車いすを折りたたんでください。
※車いすの折りたたみ方法は、車いすの取扱説明書をご覧ください。

4．車いすのフレーム部分を持って、静かに積み込んでください。
※電動ユニット部品を絶対に持たないでください。
※クッションなど衝撃をやわらげるものを下に敷いてください。
※積み込んだ際、操作ボックスを電動ユニット部品の下にしないでください。
※動かないように固定してください。
※バッテリは、バッテリケースから取り外して運搬してください。

⚠ 注　意

車いすを持ち上げるときに、絶対にバッテリ、ケーブルなど電動ユニット部品を持たないでください。機器が破損する恐れがあります。

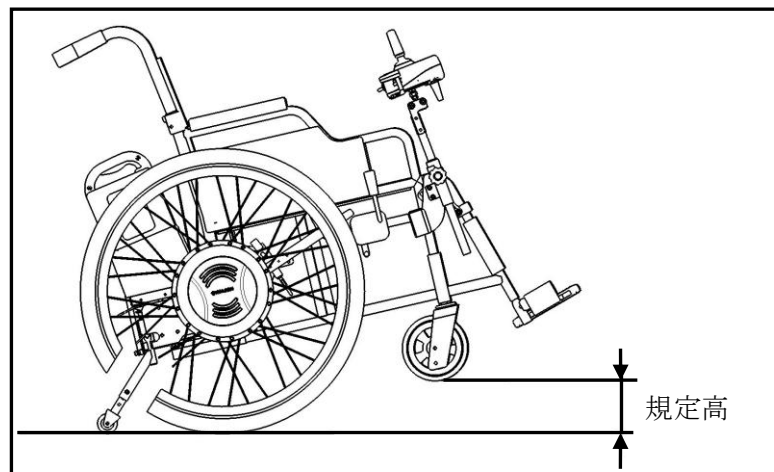
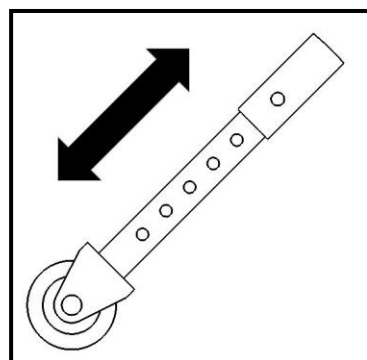
7 点検・整備

1．転倒防止バーの高さ調整

付属工具（４mmレンチ　８mmスパナ）を使用し、転倒防止バーの高さ調整ボルトをゆるめ、高さを規定の範囲内（規定高）で調整してください。

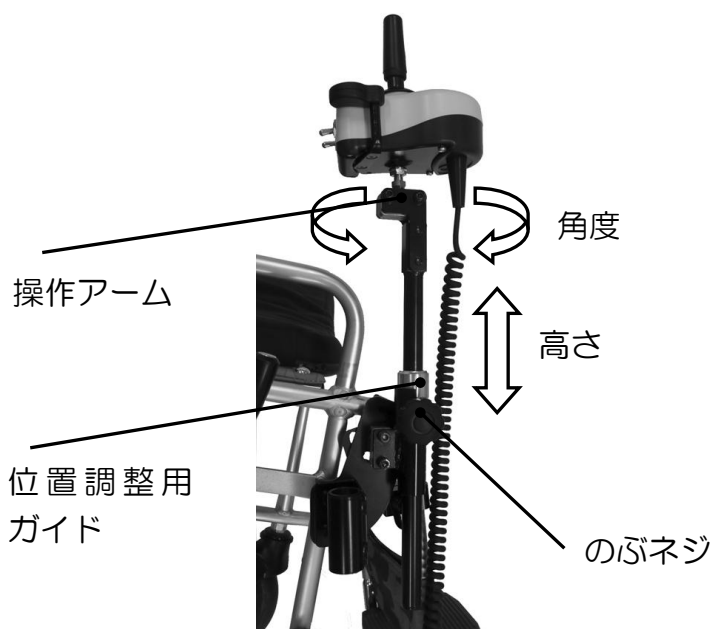
高さ調整ボルト

※規定高

転倒防止バーの車輪が地面に接地するまで前輪を浮かせたとき、キャスタと地面の間が５０~１００mmの範囲であること。

2．操作ボックスの位置調整

操作ボックスの位置は、高さ、角度、横位置を調整することができます。
お好みの位置に調整してください。

角度を調整

付属工具（４mmレンチ）を使用し、角度調整ボルトをゆるめ、角度を調整してください。

高さ・横位置を調整

付属工具（２．５mmレンチ）を使用し、位置調整用ガイドの高さと角度を調整します。角度を変更する事で、横位置（左右方向）の調整ができます。
また、のぶネジをゆるめて引き抜くことができます。

3．車いす本体、及び駆動輪の点検

・車いすの取扱説明書に従って、車いすのフレームを点検してください。

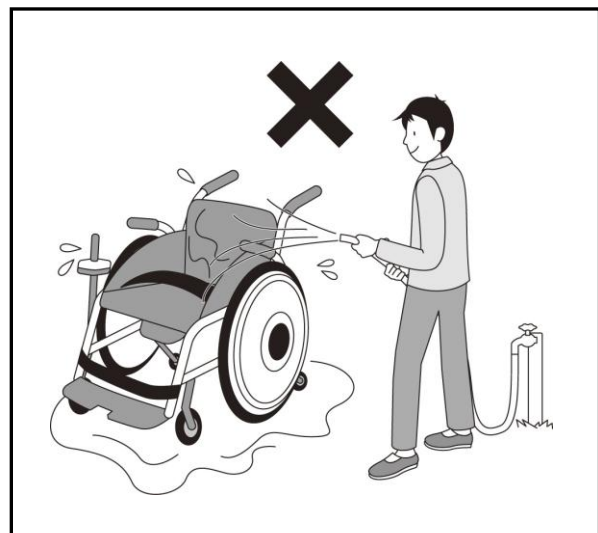
・駆動輪のタイヤ空気圧は３００ｋＰａ（３．０ｋｇ／ｃｍ^2）を保つように定期的に確認してください。

・駆動輪にタイヤの磨耗やスポークのゆるみ・破損がみられたときは直ちに販売店へご連絡ください。

注　意

・車いす電動ユニットは、電気部品をたくさん使用していますので、水洗いは絶対にやめてください。

・ガソリン、シンナー、ワックス等でふかないでください。

・部品交換時は、必ず純正部品を使用してください。

8 故障時チェックリスト

デイリープラスの調子が悪いときは、以下の項目を調べてみてください。
また、問題が解消しない場合は保証書の車体番号とあわせて販売店にご連絡ください。

症　状	確　認　事　項	対　処　方　法
■操作ボックスでの操作		
動かない	バッテリの残量がなくなっていませんか	充電するか、充電済みのバッテリに交換してください
	バッテリが正しく差し込まれていますか	正しく差し込んでください
	クラッチは「電動」になっていますか	クラッチを「電動」にしてください
	充電コードのプラグがバッテリに差し込まれていませんか	充電コードのプラグをバッテリから抜いてください
	操作レバーを倒したまま電源を「入」にしていませんか	操作レバーを中立位置に戻してから電源を「入」にしてください
	転倒防止バーが格納されていませんか	転倒防止バーを走行位置に設定して下さい
	車いすのパーキングブレーキがロックされていませんか	パーキングブレーキを解除してください
速度が遅い	車いすの駆動輪のタイヤの空気圧は適正ですか	タイヤに空気を入れてください 規定値　３００ｋＰａ
	バッテリ残量ランプが１灯になっていませんか	充電してください
バッテリの減りが早い	バッテリは「充電完了」ランプが点灯するまで充電しましたか	充電完了まで充電してください
	充電時にバッテリが温かくなっていませんか	走行した直後はバッテリの温度が上がっています。バッテリの温度が４５℃を超えると充電が中断されますので、少し時間をおいて冷却してから再度充電をおこなってください。
	バッテリは１年以上使用していますか	交換するか、リフレッシュ放電を行ってください（P.26 参照）
振動する	タイヤがパンクしていませんか	タイヤを交換してください
	駆動輪の取付ボルトがゆるんでいませんか	販売店にご連絡ください
■充電中		
充電しない	充電中ランプが点滅していませんか	バッテリの温度が適正になるのを待ってから充電してください
	コンセントに正しく差し込まれていますか	正しく差し込んでください
	リフレッシュ放電が作動していませんか	放電するまでお待ちくだい

故障時チェックリスト

■エラーメッセージの確認

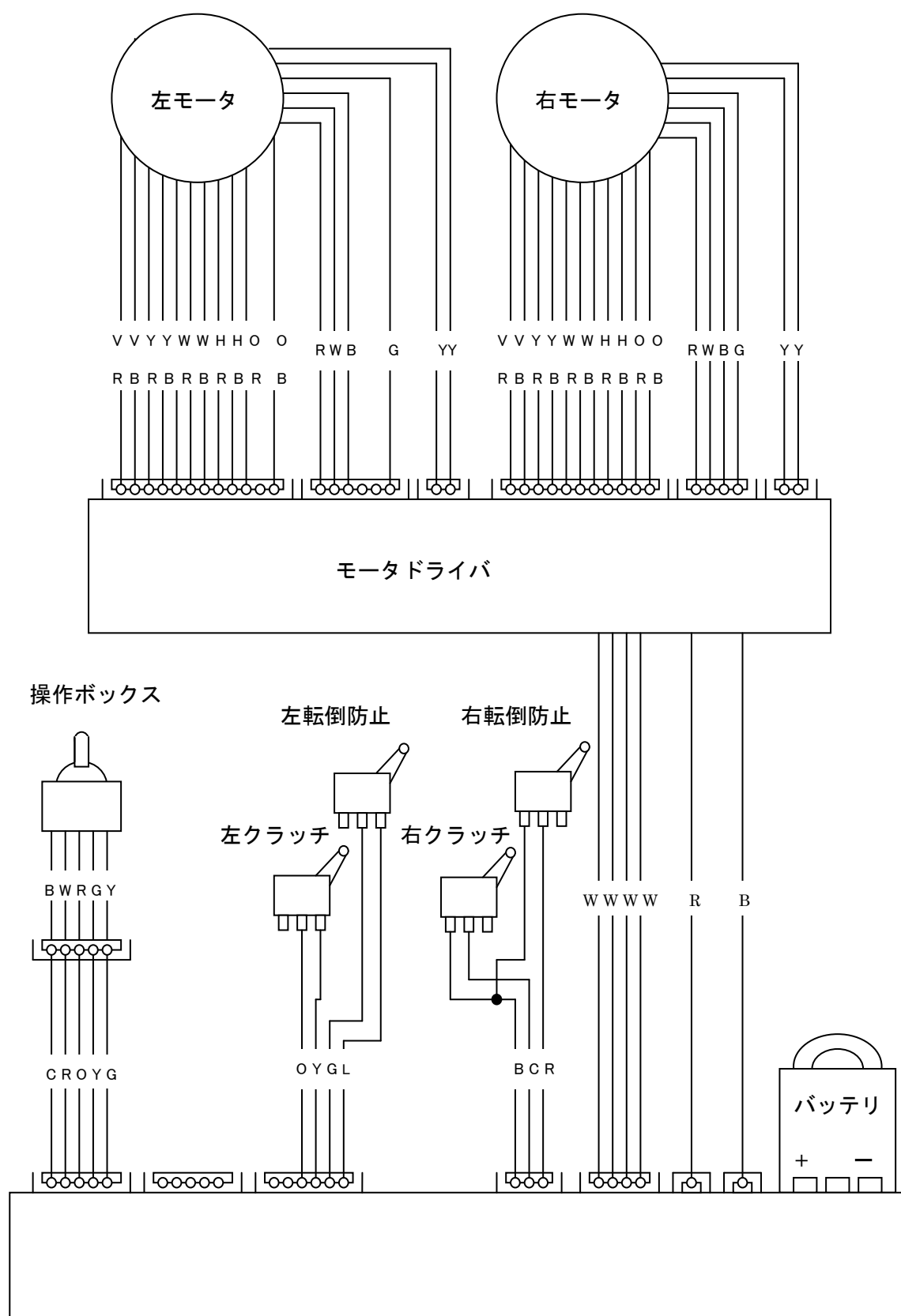
エラーメッセージとは、故障などの場合に、操作ボックスの表示器にエラー表示が点灯している状態のことです。表示器の表示内容により、現在の状況をお知らせします。

表示	内容	状態	確認事項
E３	フラッシュ読み出し	初回起動時に表示	常時表示される場合は、バッテリボックスの故障が考えられます。
E３	ドライブ基板エラー	ドライバ故障、モータ過熱	車いすが障害物等により動けなくなっていないかお確かめください。 上り坂など高負荷での使用を避け、しばらく走行しないでください。解消されない場合はドライブユニットの故障が考えられます。
E４	左駆動部過負荷検出	過負荷	〃
E５	右駆動部過負荷検出	〃	〃
E６	左モータエラー検出	エンコーダ検出異常	左モータ、またはモータドライバの故障が考えられます。
E７	右モータエラー検出	〃	右モータ、またはモータドライバの故障が考えられます。
H０	操作レバー中立エラー	電源「入」にした時にレバーが中立になっていません	操作ボックスから手を離して、電源を「入」にしてください。解消されない場合は操作ボックスの故障が考えられます。
H１	ＣＡＮ通信エラー	通信不通	モータドライバ、操作ボックス、またはバッテリボックスの故障が考えられます。

9 諸元・性能表

種類		ＬＳ			ＭＳ	
機種名		DPS-L20	DPS-L22	DPS-L24 【2013年８月発売予定】	DPS-M22	DPS-M24 【2013年８月発売予定】
タイヤ（後輪）サイズ		20インチ	22インチ	24インチ	22インチ	24インチ
		20×1 3/8	22×1 3/8	24×1 3/8	22×1 3/8	24×1 3/8
速度 （ｋｍ／ｈ）	前進	高速４．５			高速６．０	
		中速３．５			中速４．５	
		低速２．５			低速２．５	
	後進	前進速度の１／２				
	介助用 （オプション）	【２０１３年10月発売予定】				
重量 （ｋｇ）	ユニット単体	17.5	18.0	18.5	18.0	18.5
	バッテリ含む	21.5	22.0	22.5	22.0	22.5
バッテリ		マイコン内蔵バッテリ（ニッケル水素電池　ＤＣ２４Ｖ　１０．０Ａｈ）				
駆動方式		後輪直接駆動				
制動方式		モータ回生制動　及び　電磁ブレーキ				
制御方式		ジョイスティックコントローラによる全方向電子制御方式				
駆動モータ		ACサーボモータ　３０分定格出力　ＤＣ２４Ｖ　１００Ｗ×２				
充電器	電源	１００～１２０Ｖ　５０／６０Ｈｚ　定格出力２９Ｖ・２．５Ａ				
	充電時間	最大６時間				
連続走行距離 （ｋｍ）	JIS	22.5			24	
		※算出条件：電動車いす JIS9203:2006　11.1.13 項　(1)式による 常温２５℃、使用者最大体重、最高速度、バッテリ新品満充電、平坦路直進連続走行時				
	ISO	20			22	
		※算出条件：電動車いす ISO7176-4（JIS9203:2006　11.1.13 項(2)式）による 常温２５℃、使用者最大体重、最高速度、バッテリ新品満充電、平坦路連続走行時				
実用登坂角度（度）		６				
使用者最大体重（ｋｇ） （積載物含む）		１００　以下				

※改良のため予告なく諸元・性能を変更することがあります。

10 電気配線図

<table>
<tr><td rowspan="2">色記号</td><td>B</td><td>C</td><td>R</td><td>O</td><td>Y</td><td>G</td><td>L</td><td>V</td><td>H</td><td>W</td></tr>
<tr><td>黒</td><td>茶</td><td>赤</td><td>橙</td><td>黄</td><td>緑</td><td>青</td><td>紫</td><td>灰</td><td>白</td></tr>
</table>

車いす電動ユニット「デイリープラス」の故障、修理に関するお問い合わせは下記販売店までご連絡ください。

株式会社 今仙技術研究所

本　　社　〒５０９－０１０９
岐阜県各務原市テクノプラザ３丁目１番８号
電話　　（０５８）３７９－２７２７
ＦＡＸ　（０５８）３７９－２７２６

デイリープラス
DailyPLUS

取扱説明書
２０１３年５月発行

編集発行　株式会社　今仙技術研究所